

(11)Publication number : 10-063593
(43)Date of publication of application : 06.03.1998

G06F 13/00
G06F 17/60
G07G 1/14

(72)Inventor : ADACHI SHIGEMITSU

[illegible]

2004/08/11

THIS PAGE BLANK (USPTO)

THIS PAGE BLANK (USPTO)

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-63593

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月6日

(51) IntCl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 13/00	3 5 1		G 0 6 F 13/00	3 5 1 L
17/60			G 0 7 G 1/14	
G 0 7 G 1/14			G 0 6 F 15/21	3 1 0 Z

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-217303

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月19日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 安達 重光

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

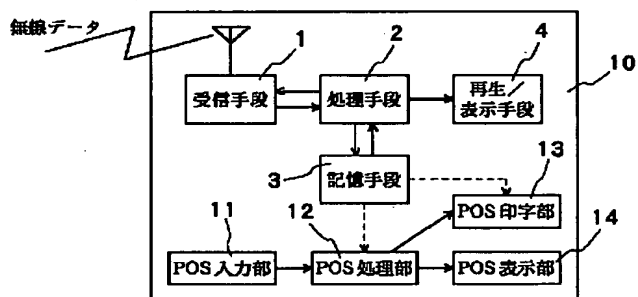
(74) 代理人 弁理士 若林 忠

(54) 【発明の名称】 情報提供サービス機能付きPOS端末

(57) 【要約】

【課題】 POS端末を活用して、手間をかけることなく充実した情報提供サービスを顧客（購買客）に対して提供できるようにする。

【解決手段】 無線データとして情報を受信する受信手段1と、受信する情報の選択を行って選択された情報を出力する処理手段2と、処理手段2から出力された情報を再生／表示する再生／表示手段3とをPOS端末に付加し、情報提供サービス機能付きPOS端末10とする。



(2)

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 POS 端末において、無線データとして情報を受信する受信手段と、受信する情報の選択を行って選択された情報を出力する処理手段と、前記処理手段から出力された情報を再生／表示する再生／表示手段とを有し、POS 端末の近傍にいる顧客に対して情報を提供することを特徴とする情報提供サービス機能付き POS 端末。

【請求項 2】 前記処理手段で選択された情報を記憶する記憶手段をさらに備える請求項 1 に記載の情報提供サービス機能付き POS 端末。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、各種の小売店などに設置される POS (Point Of Sales) 端末に関し、特に、顧客 (小売店などでの購買者) に対して、音声、画像、文字などの形態で各種の情報を提供する機能を有する情報提供サービス機能付き POS 端末に関する。

【0002】

【従来の技術】 POS 端末は、小売店などの売場に設置され、単品管理、顧客管理、売上管理などに使用するデータを即時に収集するためのものであって、売上登録／会計集計／在庫管理などを行い、これらのデータの送受信／処理／記憶／表示などの機能を有している。

【0003】 ところで、POS 端末の設置場所は、店内で必ず顧客が立ち寄る場所であるため、POS 端末は、販売促進用のサービスの提供に用いたり、顧客に対して各種の情報を表示するのに使用することができる。例えば、POS 端末は、各種のポイントサービス (顧客ごとに購入高に応じたポイントを付与し、ポイントの値に応じて値引きを行ったり、ポイントが一定の値までたまったら商品や金券を交付するなどのサービス) の実施に使用される。また、POS 端末において売上登録時には金額等を顧客に対して表示することになる表示器に、営業時間・休業日の案内メッセージや販売促進用のメッセージを表示することも行われている。

【0004】 しかしながら、ポイントサービスは、余分なレシート発行が必要であったり、別の装置を追加しなければならないために装置への投資が必要であったりすることがあり、また、ポイントに応じた商品や金券の提供や値引きなどのために、かなりのコストが発生してしまう。また、POS 端末に本来的に備えられている表示器へのメッセージの表示の場合、売上登録を始めるとメッセージ表示が金額等に切り替わってしまうことや、表示すべきメッセージを予め装置に記憶させるための手間がかかる、などの問題点がある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 上述したように、POS 端末による顧客への情報提供サービスは、現在のところ、店舗を経営する者に必要な情報の収集／分析を目的

2

として POS 端末に備えられた機能を一部流用した程度のものであって、顧客に対するサービス提供を中心にして考えられた機能を有するものとはなっていない。結局、従来の POS 端末では、店舗情報収集を目的とした機能を顧客へのサービス提供に流用しているため、顧客に対して提供できるサービスに制限があるという問題点がある。

【0006】 本発明の目的は、POS 端末の設置場所が店舗内で必ず顧客が立ち寄る場所であることに鑑み、POS 端末を活用して、手間をかけることなく充実した情報提供サービスを顧客に対して提供できるようにすることにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明の情報提供サービス機能付き POS 端末は、POS 端末において、無線データとして情報を受信する受信手段と、受信する情報の選択を行って選択された情報を出力する処理手段と、処理手段から出力された情報を再生／表示する再生／表示手段とを有し、POS 端末の近傍にいる顧客に対して情報を提供する。本発明においては、処理手段で選択された情報を記憶する記憶手段をさらに備えるようにしてもよい。

【0008】 本発明による情報提供サービス機能付き POS 端末によれば、無線データとして送信されてくる情報 (サービス情報) を受信し、これを音声、画像、文字などの形態の情報として顧客に提供することが可能になる。すなわち、受信手段はサービス情報を受信し処理手段に送るが、ここで処理手段は、選択機能を持ち、サービス情報から所望の情報を選択可能であって、選択された情報を再生／表示手段に (記憶手段があれば記憶手段にも) 送る。これによって、顧客に対し、POS 端末の設置場所で、サービス情報が音声、画像、文字などの各種の形態で提供される。

【0009】

【発明の実施の形態】 次に、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。

【0010】 《第 1 の実施の形態》図 1 は本発明の第 1 の実施の形態の情報提供サービス機能付き POS 端末を示すブロック図である。この情報提供サービス機能付き POS 端末 10 は、通常の POS 端末として備えるべき POS 入力部 11、POS 処理部 12、POS 印字部 13 及び POS 表示部 14 の他に、顧客に提供すべき情報を含んだ無線データ (電波) を受信する受信手段 1 と、提供すべき情報の処理／選択を行うための処理手段 2 と、処理手段 2 で選択された情報を記憶する記憶手段 3 と、処理手段 2 で選択された情報を画像、文字、音声などの顧客が認識できる形式で再生しあるいは表示する再生／表示手段 4 とを備えている。受信手段 1 は、典型的には、チューナであって、放送電波 (テレビジョン放送 / ラジオ放送) あるいは特定の電波を受信するものであ

(3)

3

る。放送電波を使用する場合には情報料が不要になるという利点もある。記憶手段3は、電気的信号により消去可能なメモリであって、例えば、磁気ディスク装置、あるいはランダム・アクセス・メモリ（RAM）によって構成される。再生／表示手段4は、例えば、ディスプレイやスピーカといった再生装置、表示装置である。

【0011】なお、この情報提供サービス機能付きPOS端末10において、POS入力部11は、典型的にはバーコードリーダや金額入力用のキーボードであり、ここへの入力は、POS処理部12に出力される。POS処理部12は、通常のPOS端末としての各種の処理、例えば、売上登録、販売データの記憶や送信などを行うコンピュータ部分である。また、POS印字部13は、売上登録などの結果に応じて顧客に対するレシートを印字・発行する部分であり、また、POS表示部14は、いわゆるPOSレジスタにおける表示器部分であって、売上登録時に金額等を表示するために使用されるものである。ここでは、情報を選択するための処理手段2は、POS処理部12からは独立に設けられているが、これらを兼用のものとして構成してもよい。

【0012】本実施の形態において、ディスプレイとして構成される再生／表示手段4とPOS表示部14とは、別個に設けられるものであって、表示能力等が異なっている。すなわち、POS表示部14は、単品の売上登録の都度その金額を表示できる程度のものでよいが、再生／表示手段4は、例えばテレビジョン画像を再生できる程度のものでなくてはならない。

【0013】次に、本実施の形態の動作について、顧客への情報提供サービスの処理を中心にして説明する。

【0014】まず、受信すべき電波の周波数を処理手段2によって選択する。この選択は、予め行われていてもよいし、顧客（購買客）あるいは販売員（レジ係）によってその場で行われるようにしてもよい。選択された周波数の情報はチューナである受信手段1に伝えられ、受信手段1はその選択された周波数の電波（無線データ）を受信し、情報データとして処理手段2に出力する。処理手段2は、入力された情報データに対して必要に応じて適宜の処理を施した後、この情報データを記憶手段3と再生／表示手段4に出力する。これにより、情報データが記憶手段3に記憶されるとともに、音声／画像／文字情報として再生／表示手段4によって再生／表示され、顧客に対して情報が提供される。音声情報であれば、再生／表示手段4としてのスピーカから再生され、画像情報あるいは文字情報であれば、再生／表示手段4としてのディスプレイから再生（表示）される。このとき、再生／表示手段4においてメニュー表示を行い、このメニューの中から情報を選択することにより、その情報を受信して再生／表示させることも可能である。

4

【0015】本実施の形態では、記憶手段3に記憶された情報データをバックアップとして使用し、POS処理部12に出力することにより、POS端末本体側での付加情報とすることも可能である。また、記憶手段3に記憶されたデータをPOS印字部14に出力することにより、このPOS端末が印字・出力するレシートへの印字情報として使用することもできる。

【0016】《第2の実施の形態》次に、本発明の第2の実施の形態について説明する。図2は、本発明の第2の実施の形態の情報提供サービス機能付きPOS端末の構成を示すブロック図である。

【0017】この情報提供サービス機能付きPOS端末15は、上述した第1の実施の形態のものと比べ、記憶手段が設けられていないことと、処理手段5がPOS処理部としての処理も行うように構成されている（すなわち処理手段とPOS処理部とが兼用になっている）点で相違している。したがって、処理手段5は、受信手段1や再生／表示手段4と接続するほか、POS入力部11、POS印字部13及びPOS表示部14とも接続している。

【0018】このように、記憶手段を設けず、さらに処理手段にPOS処理部としての機能を持たせることで、シンプルな構成とすることができ、また、コストも削減することができる。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、受信手段、処理手段及び再生／表示手段をPOS端末に付加することにより、POS端末の設置場所において簡単に、音声、画像、文字などの各種の充実した情報を顧客に提供できるようになるという効果がある。また、無線データを使用することから、配線工事が不要であってリアルタイムに情報を提供できるという効果もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態の情報提供サービス機能付きPOS端末の構成を示すブロック図である。

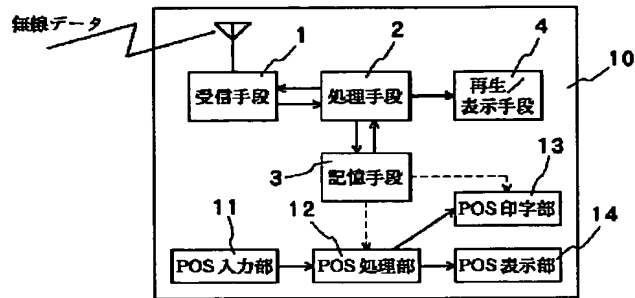
【図2】本発明の第2の実施の形態の情報提供サービス機能付きPOS端末の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 受信手段
- 2, 5 処理手段
- 3 記憶手段
- 4 再生／表示手段
- 10, 15 情報提供サービス機能付きPOS端末
- 11 POS入力部
- 12 POS処理部
- 13 POS印字部
- 14 POS表示部

(4)

【図1】



【図2】

